農林水産事業の概要

日本政策金融公庫
農林水産事業

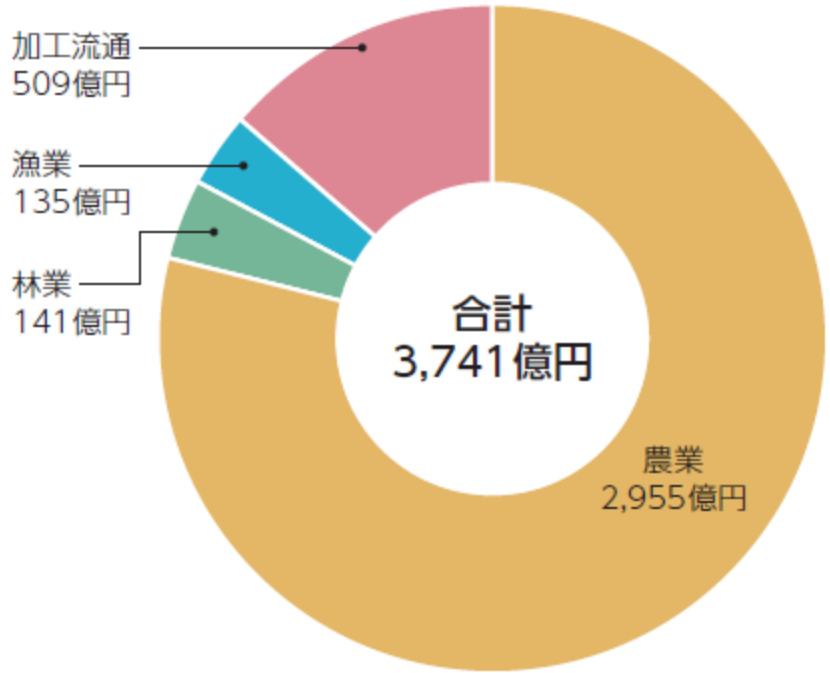
農林漁業の特性を考慮した長期の融資

農林漁業の「天候などの影響を受けやすく収益が不安定」、「投資回収に長期間を要する」といった特性を踏まえ、農林水産業の持続的かつ健全な発展又は食料の安定供給の確保に資する長期の資金を供給しています。

●令和7年度融資実績

農林水産事業は、農林漁業や食品産業の皆さまに対し、12,900件(前年度比98.5%)、3,741億円(同93.6%)を融資しました。業種別では、農業資金2,955億円、林業資金141億円、漁業資金135億円、加工流通資金509億円となりました。

融資実績（令和7年度）



●セーフティネット機能の発揮

地震、台風などの自然災害や家畜伝染病、原油価格・物価高騰などの影響により、一時的に経営が悪化した農林漁業の皆さまに長期運転資金をはじめとする融資を通じた機動的な支援を行い、セーフティネット機能を発揮しています。

●農林水産業の構造転換に向けた支援

農林水産業の構造転換に向け、農林漁業の担い手の経営発展や食料システムの持続性の確保の取組みを支援していきます。

（2026年7月）

農林水産事業の概要

日本政策金融公庫
農林水産事業

お客さまの経営発展を伴走支援しています

自然災害の発生や国内外の社会経済情勢の変化などに伴い、お客さまの経営課題もより高度化かつ多様化する中で、農林水産事業では、お客さまの現状と課題を把握・共有し、伴走型で課題解決を支援する取組みを推進しています。

●経営ステージに応じたお客さまの課題解決を支援

創業時の就農支援、成長期の拡大（成長）支援、成熟期のさらなる発展への支援など、経営ステージに応じたお客さまの課題解決を支援しています。

●財務分析による現状と課題の共有

お客さまにご提供いただいた決算情報をもとに財務状況を分析し、農林水産事業の持つ同業他社の経営指標と比較することで、お客さまの強みや経営課題を見える化し、お客さまと共有しています。

●外部ネットワークとの連携による海外展開などの支援

お客さまが抱える販路開拓や財務改善、生産性向上など多岐にわたる課題に的確に支援するため、日本プロ農業総合支援機構（J-PAO）、日本貿易振興機構（ジェトロ）などの外部の専門機関と連携しています。

●事業承継の支援

お客さまの事業承継に係る課題に対し、事業承継の形態や段階に応じた情報提供、外部専門家や関係機関などの紹介・派遣、資金の供給などにより支援に取り組んでいます。

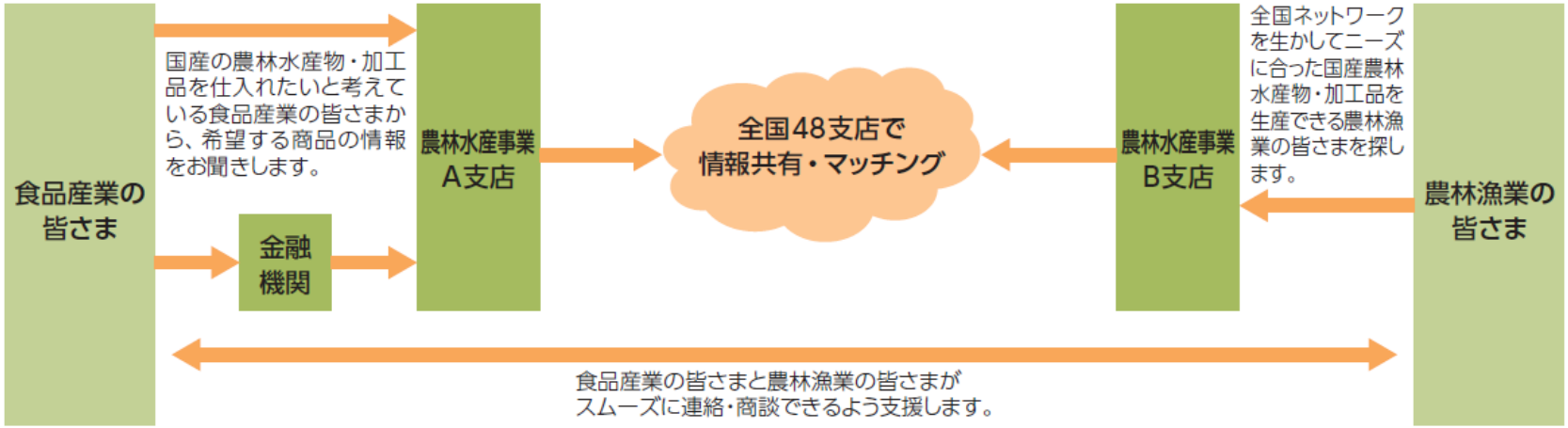
●事業再生支援

民間金融機関や外部専門家と連携して、お客さまの経営改善計画の策定を支援。計画実行後の経営相談やフォローアップも継続して実施するなど、お客さまの事業再生支援に積極的に取り組んでいます。

●全国ネットワークを活用したマッチング支援

全国48の支店網を生かし、食品産業の皆さまの国産農林水産物を「買いたい」ニーズと、農林漁業を営む皆さまの「売りたい」ニーズをマッチングし、お客さま同士をお引き合わせしています。

●全国ネットワークを活用したマッチングを行っています



（2026年7月）